

☆知多社会科同好会 自主研修会通信☆

平成28年7月6日 第79回

平成28年度 第3回自主研修会を開催しました！

今回は、山本校長先生（西浦南小）、新美教頭先生（乙川中）、井口先生（半田中）、青木孝輔先生（新知小）、青木翔太先生（雁宿小）、宮下（加木屋小）の6名で行いました。

【提案①】

青木孝輔先生から、小学校3年社会科「店ではたらく人びとの仕事」の単元計画を提案していただきました。学校の近くにある大型商業施設を取り上げ、その人気の秘密をさぐる中で、地域の販売に携わる人々の願いや工夫、努力などに迫ることをねらいとしていました。単元の流れについて検討する中で、話題に上った3つのことを紹介させていただきます。



- ・児童たちにとって、より身近な商業施設を取り上げたい。児童が家族とよく利用するのは、大型商業施設よりも夜遅くまで営業しているスーパーマーケットかもしれない。利用状況を調べる「買い物調べ」を大切にし、展開を工夫できるとよいのではないかな。
- ・見学中に、買い物客に簡単なインタビューができるとよいのではないかな。知多市の教材に、アンケート用紙の例として、「どうして、この店に買いものにきたのですか」「どこから、何できましたか」が載っているので、参考にしてはどうか。よりアクティブにしたい。
- ・発表方法について、動画でCMを作り、お店に見てもらった実践を見たことがある。児童の学びがよりよく表せるように、学校公開日に保護者向けに発表したり、お店に掲示をさせてもらったりする方法があるのでないかな。

【提案②】

青木翔太先生から、小学校6年社会科「国力の充実をめざす日本と国際社会」の単元計画と第7時の略案を提案していただきました。11月に実施予定の単元ですが、すでに単元計画図が作られていました。これを何度も見直し、更新していくことで、児童にとっても、教師にとってもよりよい学びができる授業になるのだと思います。以下、協議する中で話題に上った3つのことを紹介させていただきます。



ノルマントン号事件の風刺画

- ・第1時の学習問題「日本と欧米諸国の力関係は、どうなっているのだろうか」の「力関係」とは？
‘つかむ節’では、「日本はどんな国を目指していたのか」という視点を捉えさせることが大切になる。
- ・計画では、第1時で、ノルマントン号事件の風刺画を基に、条約改正や産業（工業）・科学技術の発展、武力（戦争）、政治の仕組みの視点を与え、4つのグループに分かれて調べを進める計画であった。しかし、この時代はさまざまなことが複雑に絡み合っているため、すべてを網羅しようとする、児童が混乱してしまうのではないかな。視点を絞って学習を進める計画にしてはどうか。
- ・個人やグループで調べたことを共有する場をどのようにして設けるか。計画では、興味をもったことを選んで新聞にまとめる計画であった。単元の中盤で新聞にまとめ、話し合いで生かせるようにしてはどうか。

次回は懇親会です！

8月26日（金） 18時30分から「鳥貴族」（太田川店）で行います！

会費 3,000円

※参加を希望される方は、半田中 井口 までお問い合わせください！

